

復活における新創造として、キリストの昇天の中で生き
キリストの複製また配偶者となることを通して、霊的戦いを戦う

聖書：雅 4:4, 8, 12-16. 6:4, 10, 13. 8:5-6, 13-14

I. 「あなたの首は、武器倉のために建てられたダビデの塔のようだ。その上には千の小盾、すべて勇士の大盾がかけられている」——雅 4:4 :

- A. 首は、人の意志が神の下に降伏することを表徴します。主は、わたしたちの意志が降伏することを最も美しいことであると考えます。
- B. キリストの愛する者の美しさは、彼女のキリストに服従する意志にあり（ダビデの塔のような首）、この意志は防衛する力（小盾と勇士の大盾）に富んでいます：
- もしわたしたちが服従する意志、すなわち山にいるやぎの群れのように降伏している意志を持っているなら（1節後半）、わたしたちの意志はダビデの塔のように表現され、そこにはあらゆる種類の攻撃に抵抗する武器が収められています。
 - キリストの愛する者は彼女の天然の意志から出て来ました。そして今や彼女は復活した意志の中で敵に抵抗して立っています——エペソ 6:11, 13。
 - わたしたちの意志が降伏すればするほど、ますますわたしたちは造り変えられます——ローマ 12:2。
 - まず、わたしたちの意志が降伏しなければなりません。それから、それは復活の中で強くなり、ダビデの塔、霊的戦いのための武器倉のようになります——エペソ 6:10 :
 - 霊的戦いのための武器は、わたしたちの降伏し復活した意志の中に保たれます——II コリント 10:3-5。
 - 敵の矢からわたしたちを保護する小盾と大盾は、主を尋ね求める者の降伏し復活した意志という塔の中に収められています。

II. 「わが花嫁よ、わたしと一緒にレバノンから、わたしと一緒にレバノンから来なさい。アマナの頂から、セニルとヘルモンの頂から、獅子の洞穴、豹の山から見なさい」——雅 4:8 :

- A. キリストの死と復活の経験は、尋ね求める者を彼の昇天の中へともたらしめました。今や彼女はキリストの昇天の山頂にあり、昇天の中に生きています——エペソ 1:20. 2:5-6。
- B. キリストは、彼の愛する者を召して彼の十字架にとどませたように、彼女を召して昇天の中で彼と共に生きさせます——雅 2:14 :
 - キリストが彼の花嫁としての愛する者に求めるのは、彼の昇天（レバノン）、すなわち真理（アマナ）の最高峰から、またキリストの戦いにおける勝利の最高峰（セニルは「柔らかい武具」を意味する、ヘルモンは「破壊」を意味する）から、敵どもがいる天上の場所（獅子の洞穴と豹の山）から、彼と共に見ることで——4:8。
 - キリストの愛する者が昇天の中で生きているとき、彼女とキリストは一つの状態の中で、すなわち昇天の状態の中で生きて、夫婦となります。両者は命と性質に

において同じであり、互いに完全に符合しています。

- C. キリストの昇天の中には彼の勝利があります。もはや戦いはありません。なぜなら、敵はすでに打ち破られており、わたしたちは柔らかい武具を着て、キリストの中でわたしたちの勝利を享受しているからです。祈りの地位は、昇天、すなわち天上の地位です——ローマ 8:37. エペソ 2:6。

III. キリストの造り変えられた花嫁は、復活における新創造としてキリストの昇天の中で生きることを通して、キリストの個人的な享受のための園となります——雅 4:12-16。

IV. 勝利を得た、キリストの愛する者は、神と一になって神の住まいとなると、神の目に美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのようです。しかしながら、敵にとって、彼女は恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようです——雅 6:4, 10 :

- A. キリストの愛する者は、主の御前で美しく、麗しく、天の都のように堅固であり、聖なる所のように穏やかです。同時に、彼女は敵と世の人の中で彼女の勝利の栄光を展覧します——4 節 :

1. 軍隊が戦うとき、最も重要なものは武器です。勝利が得られたとき、最も重要なものは勝利の栄光を表徴する広げられた旗印です——出 17:15。
2. 旗印は戦う準備ができておることを示しており、また勝利が得られたことのものであります——イザヤ 59:19。

B. 幕の内側での生活は、主の御前での生活であるだけでなく、敵の前での生活でもあります——雅 6:4. ヘブル 10:19. II コリント 3:18. エペソ 6:10-12 :

1. 神の意図は、キリストの愛する者が天的な美しさを持っているだけでなく、戦う性質も持っていることです——II コリント 11:2. 10:4-6。
2. 勝利を得た、キリストの愛する者は、希望に満ちた前途と、完全に天的な生活を持っているだけでなく、勝利の中で絶えず凱歌を歌う勝者でもあります——雅 3:7-8。

C. キリストの愛する者は愛すべきであると同時に、恐ろしくあるべきです。しかしながら、多くの信者たちは、主の御前で愛すべきであることと、敵の前で恐ろしくあることを失ってしまいました——6:4, 10。

D. 神の建造は常に軍隊です。わたしたちは主にとって都となると、敵にとって軍隊です——4 節 :

1. 建造と霊的戦いは分離することができません。建造がある所には、戦いがあります——ネヘミヤ 4:1-23。
2. 戦いは常に建造と同行し、建造は常に戦いにおいて勝利をもたらします——マタイ 16:18-19。
3. これがクリスチャン生活の完成です。キリストを愛し尋ねる者が到達することのできる最高の成就是、都となり、また軍隊となることです。

E. 恐ろしい軍隊が表徴するのは、主の勝利者が神の敵であるサタンを恐れさせるということです——雅 6:4, 10 :

1. サタンは、ただ一種類の人々、すなわち自分の魂の命を愛さない者たちを恐れませ——啓 12:11。
2. 敵は、バテル、神の家を恐れませ——創 35:1-5。

3. 敵は、神の都としての建造された召会を恐れます——ネヘミヤ 6:15-16. 詩 102:12-16。
4. 悪鬼と邪悪な天使どもは、キリストが十字架上で創造した一人の新しい人を恐れます——エペソ 2:15-16. コロサイ 2:14-15。
5. サタンはたとえ個人主義的なクリスチャンが数千人いたとしても恐れませんが、キリストのからだとしての召会、すなわちサタンと彼の王国に対して戦う団体の戦士を恐れます——エペソ 6:10-20。

V. 婚姻の日に、キリストは、長年にわたって神の敵に対して戦ってきた者たちと結婚します。すなわち、キリストは、すでに邪悪な者に打ち勝っている勝利者と結婚します——啓 19:7-9, 11-16 :

- A. キリストは来て反キリストと彼の軍隊に対して戦うとき、人の子として来ます。また彼は人の子として、彼に符合して彼を完全にする配偶者を必要とします。この配偶者は彼の花嫁です——14:14. 19:7-9 :
 1. 最終的に、勝利者は団体的に花嫁となってキリストと結婚します。彼らの婚姻の後、この花嫁は軍隊となって夫であるキリストと共に戦い、反キリストと彼の追従者たちを打ち破ります——11-16 節。
 2. 花婿であるキリストは、わたしたちが円熟に到達したのを見るとき、花嫁と結婚し、それから彼女と共にやって来て反キリストと彼の軍隊を打ち破り、人の統治を終結させます——ダニエル 2:34-35, 44-45。
- B. キリストの花嫁を構成する勝利者は、神のすべての敵に対して戦い、彼らを打ち破ります——啓 2:7, 11, 17, 26. 3:5, 12, 21 :
 1. 勝利者は、内側の敵であり最も難しい敵である自己に対して戦い、その霊の剣によってそれを殺します。その霊は神の言葉です——エペソ 6:17-18。
 2. 勝利者は、反キリストの原則と反キリストの特徴に抵抗し、打ち破ります—— I ヨハネ 2:18, 22. 2 ヨハネ 7. II テサロニケ 2:3-12。
 3. 勝利者は、異なる教えに対して良い戦いを戦い、神のエコノミーを遂行します—— I テモテ 1:3-4. 6:3-5, 12, 20-21. II テモテ 2:3-4。
 4. 勝利者は、命が死に抵抗する戦いに従事して、命の中で王として死を支配します——マタイ 16:18. I テモテ 6:19. II テモテ 1:10. I ヨハネ 3:14. ローマ 5:17, 21。
 5. 勝利者は、破壊するサタンの大混乱を征服し、建造する神聖なエコノミーの中で勝利を得ます。彼らは、現在の大混乱から救い出されるのではなく、すべてに十分な恵みとしての手順を経て究極的に完成された三一の神によって、大混乱を征服します——II テモテ 1:9, 15. 2:1, 17-18. 4:22。

VI. キリストの愛する者は、キリストの命の円熟の中でシュラムの女となります。このことが表徴するのは、彼女がキリストの複製また複写となって、彼にふさわしい者となり、彼と結婚するということです——雅 6:13. 参照、8:13-14. 啓 22:20 :

- A. わたしたちが神格において神と同じであると言うことは、大きな冒とくです。しかし、もしわたしたちが命、性質、表現、機能において神と同じになることはできないと言うなら、これは不信仰です。聖書がわたしたちに繰り返し告げているのは、神の意図がわたしたちと一になり、わたしたちを彼と一にすることであるというこ

とです——21:2. 22:17 前半. 参照、ヘブル 4:2。

B. シュラムの女は、神の目に、二つの陣営または二つの軍隊（ヘブル語「マハナイム」）の踊りにたとえられています。ヤコブは神の御使い、すなわち神の二つの軍隊を見た後、自分がいた所をマハナイムと名づけ、彼の妻たち、子供たち、所有物を「二つの軍隊」に分けました——雅 6:13. 創 32:1-2 :

1. 二つの軍隊の霊的な意義は、キリストのからだの原則にしたがって、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちが勝ち得て余りがあり、「超絶した勝利を得る」という強い証しです——ローマ 8:37. 12:5。
2. 神は自分自身の中で強い者たちを欲していません。彼は弱い者たち、すなわち比較的弱い女と子供だけを欲しています—— I コリント 1:26-28. II コリント 12:9-10. 13:3-5。
3. 神は彼と一である人、彼に服従し（編んだ髪で表徴される——雅 1:11）、柔軟な意志を持って彼に従う（宝石の首飾りのある首で表徴される——10 節）人を必要とされます。
4. 勝利者となるのにふさわしいとされる人は、主に依り頼む比較的弱い人です——エペソ 3:8. 啓 3:8. ガラテヤ 2:20。
5. わたしたちはどのように神聖な啓示の最高峰に到達するかを考察するとき、自分自身に信頼するのではなく、愛、力、あわれみである主に依り頼むべきです。そしてわたしたちはあわれみの器、尊さの器、栄光の器とされます——ローマ 9:16, 21-23. 雅 8:5-6。